

2024年度 同志社大学大学院 司法研究科

前期日程入学試験問題 法律科目試験

(憲 法)

---

第1問 (配点: 50点)

裁判所による違憲判断の方法として、法令の規定それ自体を違憲とする法令違憲という方法がある。法令違憲には、当該条項の全部違憲と一部違憲(部分違憲)が存在する。

一部違憲(部分違憲)の類型について、具体的な判例を2つ挙げて論じなさい。また、裁判所が一部違憲を行うことの当否について、①国会の有する立法権との関係や②裁判所による救済の観点を踏まえつつ論じなさい。

第2問 (配点: 50点)

Xは、暴行事件により逮捕、勾留、起訴されたものの、無罪判決が確定した。Xについては、警察は、捜査の過程でその承諾によりDNA型を採取し、無罪判決後も、データベースにおいてこれを保持・利用している。Xは、自己のDNA型に関するデータの削除を請求できるかについて論じなさい。